

事業番号	335
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	学校共済保険事業(小学校)						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	学校教育課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	学校教育係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		1 教育を支える学習環境を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	2	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	独立行政法人日本スポーツ振興センター法									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	18 %		委託	0 %		助成	82 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	学校の管理下で児童が災害を被った際に、保護者の医療費の負担を軽減する。									
	内容 (手段)	<p>独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度:学校内における児童のケガ等の医療費等を助成する制度(給付金額:療養に要する費用の額の4/10、うち1/10は見舞金) (年1回の事務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害共済給付制度の契約の更新を行い、市費にて共済掛金を支払う。(市内全小学校分)(毎月の事務) ・学校および保護者から提出される災害報告書および医療費の状況を確認、センターへ災害共済給付金を請求する。 ・センターより入金された前月請求分の給付金を、対象となった児童の保護者指定口座へ振り込む。 <p>小牧市には子ども医療費助成制度があるが、この制度に加入することで、見舞金1割分の給付がある。(中学生に対しても同事業を行っている。)</p> <p>共済掛金(8,557千円)</p>									
受益者負担	無										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	
コスト	直接経費	千円	8,834	8,710	8,557	8,658	
	正職員	従事者数	人	0.34	0.34	0.34	0.34
		人件費	千円	1,808	1,808	1,808	1,808
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	10,642	10,518	10,365	10,466	
	対前年比	%		98.8	98.5	100.9	
財源	一般財源	千円	10,642	10,518	10,365	10,466	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	共済掛金対象人数	人	目標	—	—	—	—
			実績	9,426	9,299	9,150	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	掛金人数	人	目標	—	—	—	—
			実績	9,426	9,299	9,150	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	給付金の請求手続きなどを効率よく進め、児童の怪我に係る負担に対し、十分な対応ができた。
		事業実施における課題等	請求書類に誤りがあるままセンターへ提出した場合、センターからの給付金がすぐにおりず、保護者への給付が遅れてしまう。
		事業を縮小・廃止したときの影響	小牧市には子ども医療費助成制度があるため、医療費においては保護者の負担は増えないが、見舞金の支給を受けられなくなるため、通院等医療費以外にかかる部分での負担が増加する。
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
		判定理由	学校の管理下で児童が災害を被った際、医療費の負担及び見舞金の支給があるため、保護者も安心して子どもの学校生活を見守ることができ、子ども自身も安心して学校生活を送ることができる。また学校共済保険は、全国小中学校(私立含む)でほぼ100%加入されているため、豊富な事故事例・防止策等の情報提供を受けることが可能であり、事故防止にもつながる。以上の理由から、本事業は必要不可欠である。
		改善案等	請求書類の点数検算、書き忘れ等、慎重に書類の点検をし、保護者への給付の遅延を防ぐ。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。